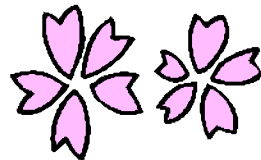


氷川町立宮原小学校 さくら図書館だより

「心豊かでやる気のある子ども」

- 生き生きとし夢をもつ子ども <健>
- 粘り強くがんばる子ども <根>
- 互いに信頼し、思いやりのある子ども <信>



< H22年度 本校の読書教育をふりかえって >

文責 図書主任 田中

1 「宮っ子タイム」の取り組み



毎週木曜日の朝自習「宮っ子タイム」では、朝読書を楽しんでいます。それぞれ好きな本を図書館から借りてきて読みます。前日に、児童図書委員が読む本を準備しておくように放送で呼びかけします。この時間帯には、地域ボランティアの方による全学年への読み聞かせ、また児童図書委員の低学年への読み聞かせも行っています。本校は12学級、児童数255名。学校の近くには八火図書館もあり、本を読むことを多くの児童が楽しんでいます。

2 読書月間(11月)の取り組み

- (1) 全校児童による「クラスの読書の木」
- (2) 図書委員による読書集会での発表

「読書の木」の表彰



あなたのクラスは「読書の木」ナンバー1でした。たくさん読みましたね。

図書室での過ごし方や貸し出しのマナー等について劇&インタビュー形式で投げかけました。

寸劇「図書館でこんなこと!？」



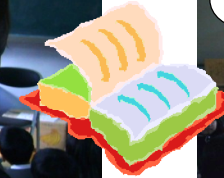
集会後は、図書室でのマナーがよくなり、児童のあいさつも、元気よくできるようになりました。

3 「PTA本読み遊び委員会」の取り組み

毎月第3水曜日のお昼休みに、保護者の方による「おはなし会」があります。大型絵本の読み聞かせやエプロンシアター、紙芝居などもりだくさんで、子どもたちも喜んで参加しました。



どんなお話かな～? 楽しみだなあ……。



4 地域ボランティア「お話さくらんぼ」の取り組み

子どもたちの豊かな心づくりを目指して、会員15名その他3名、延べ174名が年間34回読み聞かせをされました。会員の方も保護者、地域の方、男性の方と様々で、絵本の読み聞かせの中には、英語の本なども取り入れられ、季節や学校行事、児童の発達段階までも配慮されています。また、読み聞かせ後は、毎回校長室で茶話会を開き、選本の理由や思い、児童の感想や反応などをそれぞれ出し合って、情報交換されています。コーディネーターの先生による会報も毎回発行されています。



校長先生も一緒に参加されて、熱い思いの情報交換会です。



私は5年生の時から図書委員をしていました。本が好きで、みんなにたくさん本を読んでほしかったので、6年生になってからも図書委員会に入りました。委員長をすることになった時は、みんなをまとめていけるか心配でした。でも、劇や読み聞かせをした後からは、みんなが本をたくさん読んでくれるようになったり、図書館でのルールを守ってくれるようになったりして、とてもうれしかったです。頼りない委員長だったけど、みんながついてきてくれてうれしかったです。
(～1年間をふり返って～児童図書委員長の感想より)